



今年16歳。
関わる想いも
育ちました。

千鳥福祉会後援会
企業会員様 46社

アイカム株式会社
(有)クリエイティブプロダクションアドス
有限会社天野板金工作所
伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)
株式会社神谷鉄筋
有限会社木佐設計
有限会社岸本建築
岸本農園
協同組合建築技術センター
サンラポーむらくも
島根電工株式会社
新和設備工業株式会社
住商アイナックス株式会社 中国支店
(有)大京自動車
有限会社高浜印刷
田村電器有限会社
永瀬石油株式会社
有限会社中村茶舗
日清医療食品株式会社
株式会社パタカラ(本社)
株式会社原商
株式会社はらぶん
平田生花店
有限会社富士見自工
福間商事株式会社
双葉タクシー株式会社
松江土建株式会社
松江包装資材有限会社
株式会社松文オフテック
松本金物建材店
有限会社松本商店
三浦工業株式会社 松江営業所
安島工業株式会社
株式会社ユニコン
株式会社吉谷
和光工業株式会社
和幸電通株式会社
和幸冷温株式会社
ワタキューセイモア (株)米子営業所
個人会員様 46名

新年のごあいさつ

千鳥福祉会 理事長 山本 昌子

慎んで新年のご挨拶を申し上げます。
皆様におかれましては、爽やかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

そして、今年は酉年、変化の激しい世の中であるからこそ、皆様と一緒に運氣を取り(酉)込んで羽ばたき、良い年にしたいと願う所でございます。

さて、今年は後援会を立ち上げて16年目となりました。立ち上げ当時の事を思い出せば「後援会があったから千鳥福祉会が今ある」と明言できるほどのお力を頂きました。そして、当初から、頂くお力は「障がいがある方や地域の方々に届けたい」「皆様と一緒に社会貢献をしたい」という思いで夏祭り開催を考えた経緯もあります。「夏祭りをする」「障がいがある方が地域の方と一緒に楽しむ場を創る」「10年は必ず続ける」と決めてかかったその夏祭りも16回目の開催となります。

後援会の皆様を始め多くの方々に大きなお力を頂きながらではありますが、役職員一同力を結集して「進化し続ける祭り」を目指したいと思っております。

どうか、今年もよろしくお願ひいたします。



2017.1/1. NO.31

社会福祉法人千鳥福祉会

〒690-0814 松江市東持田町1415
TEL0852-24-8820 FAX0852-24-8825
URL http://www.tidori.org/
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

平成29年の
新春に当たって



千鳥福祉会後援会
会長 川上 裕治
(松江土建株式会社 代表取締役社長)

新年あけましておめでとうございます。
後援会会員の皆様には、輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年のリオオリンピックにおける日本代表選手の予想以上の活躍を、深夜・早朝まで起きて応援しましたが、3年半後の東京でも再びあの感動が得られるよう、大いに期待しているところであります。このほか、当地方では広島東洋カープの25年ぶりリーグ優勝など明るい話題もありました。一方で、東日本大震災の復興がままならない状況の中で、熊本地震や鳥取中部地震、東北・北海道での台風災害により、尊い人命や貴重な財産が奪われるなど、暗いニュースも多々ありましたが、そのたびに、多くの方々がボランティア活動を積極的に行っておられ、改めて日本人の心の優しさを感じたところであります。

私どものサマーフェスタも、多くのボランティアの皆様の協力により地域に認められたイベントに成長しましたし、各種イベントを通して地域の皆様と親睦を深めることができたと感じています。今年は、昨年以上に盛大なサマーフェスタになるよう周到な計画を立て、地域の皆様と交流し親睦を深め、障がいのある方が自身を取り巻く人々と共生し、かつ、分け隔てのない生活を体験する場を提供したいと考えています。

後援会と致しましては、今後も千鳥福祉会の活動を積極的にお支えする所存ですので、会員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。そして、酉年は「物事が頂点まで極まった状態」で商売繁盛にも繋がると言われていますが、会員の皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げます。年頭の挨拶と致します。

遠い未来もこの瞬間の積み重ね。 16年目へ羽搏く！



“時代は変わる？”
千鳥福祉会後援会
理事 安島 壮
(安島工業株式会社
代表取締役)

当たり前のように24時間営業していた、ファミリーレストランが23時迄と営業形態が変わっていることを皆さんご存知ですか？
「ブラック企業」と言われた牛丼屋さんや居酒屋さんも変わっています。その理由の一つには、パート・バイトが集まらないということが言えます。しかし、それ以上の理由があるんだそうです。それは、よく言われる我が国の人口構成の変化と共に客層が変わってしまったからです。
24時間営業しても、もう昔のように若い世代が来なくなり、開けても儲からないんだそうです。それよりもアダルト世代が多くなり、23時迄の方が、売り上げが断然上がるんだそうです。本来の「セブンイレブン」に戻るのかも…。
「時代に乗り遅れるな」とよく聞かされました。が、今は、その時代ってずっと続くの？と思います。昔の方が…とかね。
こんなことを言っている私は、時代遅れの融通の利かない偏屈親父になったんでしょね。新しい年を迎え今年こそ変わるぞ!!



“酉年”
千鳥福祉会後援会
理事 新田 喜一
(新和設備工業株式会社
常務取締役)

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、おだやかに新年を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。
酉年は「より実りの多い一年」「成果が得られる一年」「区切りとなる一年」と言われます。積極的に活動する一年間の目標を立てるには酉年が良いと言われています。私も今年の新たな目標が成果として形に現れるよう一生懸命頑張ります。
私は酉年生まれで今年は年男になります。朝必ず決まった時間に鳴くことから酉は元々「時」を知るために重宝されていたそうです。だからという訳では無いですがランニングを数年前から始めた事もあって、元旦は娘と一緒に初日の出を拝みに走りに出掛けます。自宅から、くびき大橋のちょうど中央あたりまで走り日の出を待ちます。日の出が始まるとそれは本当に綺麗で神聖な気持ちになります。それからすぐに橋北側へ走り、くびきメッセの横の川まで走ります。すると黄金色の太陽が全て現れ、それが川面に映ります。つまり上空と川面、二つの日の出が拝めるわけですが、ここでようやく手を合わせ新年のお願い事を「二つ」します。二つの日の出なのでせつかくだから「二つ」のお願いをします。欲張りという事になるのですが本当に見応えがあるので早起きされた際にはおすすぬ致します。
もう少し酉年生まれの人の特徴を調べてみますと「鋭い直感力」「決断に迷いが無い」「行動力抜群」「親切で面倒見が良い」「社交性抜群」という事らしいです。自分にはとても全てが当てはまると思えますが、この五つの特徴は後援会にとって最大の行事であります「サマーフェスタ」には全てが必要とされるものであります。年男として今年には特に頑張りますので、どうか本年もよろしく願い申し上げます。



“心新たに”
千鳥福祉会後援会
副会長 竹内 房雄
(島根電工(株)松江営業所
専務取締役所長)

新年明けましておめでとうございます。昨年も、様々な面で本当にお世話になりありがとうございました。心から感謝申し上げます。
昨年はサマーフェスタが第15回という記念すべき年でありましたが、関係する全ての方々の想いと努力が実を結び例年以上の大成功であったと思っています。
イベント的な行事は意外とマンネリズムになりがちで、目標や、目的を見失いがちですが、このサマーフェスタにおいては常に新鮮で、スタート時の目的意識をずっと持ち続けているからの毎回の成功であろうと感心し、我社でも見習わなくてはと思っています。
そんな中であって、今年度も、目的は不変であって目標は、「心新たに」でなければならないのではと思います。事を成就するに当たって目標の高さで成功の高さが違ってきます。全ての事業や勝負事は、其々にその人の目標の高さで勝負する前から勝敗が決まっているようなものだろうと考えます。
大山に登頂するために、目標を富士山に据えておけば容易く登頂できますが、目標を大山にしてしまおうとなかなか簡単には登れないだろうと思います。高い目標を掲げるのは大きな不安が伴い、実践するまで苦痛があるかも知れませんが、その分達成時の喜びもひとしおと思います。
今年度、16回目のサマーフェスタに向かって、心新たに皆様に愛され、更なる成功に導かれるようみんなて高い目標を掲げ、こころ一つに酉年にあやかり全員で飛躍しましょう。
本年も千鳥福祉会様にも、職員の皆様にとりまして、すばらしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。



“義母の介護”
千鳥福祉会後援会
副会長 長嶺 幸恵

明けましておめでとうございます。
昨年はリオオリンピックで沢山の感動が生まれたと思えば、熊本大分の大地震、北海道東北地方の台風被害、鳥取大地震と、自然の怖さを痛感しました。普段の危機管理と備えの大切さを改めて知らされました。
厚生労働省が8年前に、11月11日を「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」の思いを込めて、国民の介護への理解を深める日として「介護の日」と制定したそうです。
私の家には、89歳になる義母がいます。70の手習いで始めた書道を10年習い続け、字がうまく、裁縫も上手でとても几帳面なしっかり者の義母です。
ところが、80歳を越えた頃から50年以上続けてきた家計簿の集計ができなくなり、飲み薬の管理もできなくなりました。
認知症ということで介護認定を受けることになり、要介護1が、あれよと言う間に要介護4にまでなりました。今では家族のことも分からず、生活の全てに介護が必要になりました。その間6年、在宅介護を続けてきましたが、それも家族や周りの方々からの励まし・協力があつたからこそ、続けてこれたと思います。1人なら、もうお手上げでした。
また、ケアマネジャーの方の助言・支援で介護保険サービスをうまく使ってこられたことも認知的に思います。在宅介護も当初は、義母の老いと認知症を受け入れることができず、「なぜ自分が看なくては…」と嘆くばかりで、かといって逃げ出すこともできず、ストレスになる一方でした。
その頃ある書物で、「苦勞の無い人生はどこにもない。行動しなければいつまで経っても幸福はやって来ない。現実には厳しに決まっている。ゆえにその現実を翻弄されるのではなく進んで現実に挑み、生命の鍛錬の場としていくのだ」とありました。
私が義母の介護をやるしかないし、人としても成長するのだと決め、義母をありのままに受け入れ接することにしました。すると、自分が嫌々イライラ接していると、相手も機嫌が悪くなり反抗的になり、逆にゆったりと余裕を持ってやさしく接していると、穏やかに笑顔でいてくれることに気づきました。まさに、自分を映す鏡のようでした。
私自身、実家の両親もなくなり、義父も看取り、今「親」は義母一人です。あとどれほど在宅介護ができるか分かりませんが、一日でも長く、楽しく笑って過ごしていけるよう介護していこうと思います。



“新年を迎えて”
千鳥福祉会後援会
副会長 伊藤 立身
(和幸株式会社 監査役)

千鳥福祉会の皆様並びに後援会の皆様、新年明けましておめでとうございます。今年も変わりませず何卒宜しく御願い申し上げます。平成29年の初春を迎え、皆様方と共に健やかで幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。
昨年の第15回サマーフェスタは記念すべき節目の開催となりました。山本理事長様と職員の皆様並びに川上後援会会長様と会員の皆様、更にフェスタに携わって頂きましたボランティアの皆様方との連携により大盛会の内に収まる事が出来ました。共に大きな喜びと励みになりました。今年の開催は次の節目に向けての新たな一歩となりますが、皆様方と共に気持ちを一つにしてスタートが切れますよう心から願っております。
目を転じれば「さる年」の世の中は大きく動きました。アメリカ合衆国次期大統領のトランプ現象に世界中が動揺し、どれだけの風が吹きどれだけの影響が表れてくるか計り知れません。
日本では、今上天皇様の生前退位の動向が注目され、TPP関連法案など多くの問題で国内が揺れ動く中、ノーベル医学賞と文化勲章を受賞された大隅先生、並びにリオ・オリンピックの柔道競技に於いて伊調馨選手が大会四連覇の偉業達成と、テニス競技ではご当地出身の錦織圭選手の銅メダル獲得など多くの選手の活躍は日本国民に大きな感動を与えてくれました。
本年も皆様方と共に健康である事を第一に、一つでも多く明るく楽しい話題が飛び交う一年でありますように切に願っております。千鳥福祉会の皆様並びに後援会の皆様に於かれましては、寒さ厳しい折から、くれぐれもご自愛ください。



“人の原点”
千鳥福祉会後援会
監事 岩崎 光春
(有)C.P.アドス 代表取締役

明けましておめでとうございます。
新年に改めて思うこと。人は生まれる時もこの世を去る時も一人。しかし、人が築いた社会では人は一人では生きられない。社会が形成した世界には上下がありますが、人の世界には上下は存在しません。みんな平等に生きるためにこの世に生まれています。
支えられる、支える。それは人の役に立つこと。関わる人に不足している部分を補うこと。そんな当たり前のことを私たちは忘れていたのではないのでしょうか？今世界で起きている誰もが「不快」に思う出来事は、人の「エゴ」で起きています。
最近、涙を流したことがありますか？涙は実に自分の心に正直です。同じ人として私に、私たちにできること。それは今を生きながら、もう一度生まれ変わることで、今日しなければならぬことが変わるはず。「原点に還ろう」とよく聞きますね。自分が生きていることが当たり前と思っている瞬間には何も生まれません。人の原点。どんなに環境が違ってても原点は同じ。生きるために、新しい時間を受け入れるために私たちは今の時間を費やし一歩前に進んでいるのだと思います。16回を迎えるサマーフェスタ。もう一度原点を見つめるチャンスかもしれません。皆様とともに…。ちょっと重たかったかな～！ともあれ、今年もよろしく願いいたします。



“年頭雑感”
千鳥福祉会後援会
相談役理事
稲塚 公郎

あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはお元気で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
お正月には新しい年の無事平穏と家内安全を願って正月料理の定番である御雑煮をしっかりと頂かれたことと思います。日本では古くからお餅について神様にお供えし、そのお下りを新しい年の希望を込めて頂くという食文化が伝えられて来ました。人々の願いは皆健康で世の中が明るく豊かで平穏であって欲しいという昔も今も変わらない気持ちであります。
ところで今年は世界情勢を眺めていますと何か予測不能で不安定な時代へ突入するような気がしてなりません。昨年は英国のEU離脱派勝利、トランプ氏勝利、多発するテロ事件など大ニュースが一杯でした。行き過ぎたグローバル化や市場社会に対する不平等感の広がりとあると思います。人類は健全な民主主義の下、グローバル化の恩恵が全ての人々に共有される社会を創造しなければなりません。
いろいろすべき事は沢山ありますが、その中でひとつ、福祉社会を充実させることも重要課題であると思います。福祉は国の大きな力も必要ですが、一人ひとりが身の回りで出来る小さな事で気を付けて尽し続けられ、結びつきが強まり地域社会に貢献することが出来ると思います。今年が実り多い年となりますよう祈念致しております。



“感謝”
千鳥福祉会後援会
監事 青山 まゆみ

明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのことと思います。
昨年は本当に周りに支えられて、沢山の優しさに触れ感謝感激の一年でした。また、出会いは宝といいますが、まさしくそれを実感した一年でもありました。
その出会いと重なるように今話題の中島芭旺君(11歳)の著書「見てる 知ってる 考えてる」との出会いがあり、10歳の男の子が書いたとはびっくりのその言葉の中から心に響いたものを一部ご紹介したいと思います。
「僕の最大の長所は一人では何もできないこと。それを知っていること。助けてと言えること。」
「悲しい気分になった時、起こった出来事は一つだけどその気分は自分の交換器ひとつで全ての意味が変わってくる。自分に優しい交換器を使うと世界が変わる。」「チャンスは捨るか拾わないか」
10歳に言われるとう～んと妙に唸ってしまいます。
まだまだありますが、優しい気持ちになれる一冊でした。今年は少しでも恩返しができる一年にしたいと思っています。共に充実した良い一年となりますように。
本年もよろしく願い申し上げます。